

森吉山山スキー報告

【山城】出羽山地北部・森吉山（1454.2m）

【日程】2017年2月25日～26日

【メンバー】山岳集団チーム福島（5名；CL Wさん）・菊池（記）

【行程と天気】

25日（曇一時晴れ）森吉山

福島 4：00－五城目・八郎瀧 IC－阿仁スキー場－ゴンドラ上駅（1070m）11：00－石森（1308m）11：30－森吉山 12：20－石森 13：35－阿仁スキー場（ゲレンデ・脇のブナ林）滑走－阿仁スキー場ボトム（540m）14：40－阿仁前田駅：クインズ森吉温泉入浴－テレマーク山荘（泊）

26日（曇り）一の腰～旧森吉スキー場

阿仁ゴンドラ上駅 9：25－石森 9：55－一の腰（1264m）10：50－旧森吉スキー場滑走－車道（旧ゲレンデボトム 750m）12：20－テレマーク山荘（667m）12：50－18：45 福島－帰葉 0：10



・今シーズンからチーム福島のツアーに参加させていただき、西大巔、富良野岳・三段山に続いて3回目のツアーである。前日の夕方千葉を出発、シュラフを積み込み2回

ほど仮眠（ウトウト程度）し AM4：00、福島の吾妻学習センターの駐車場（24 時間開門しており駐車可能である）で合流した。わが家から約 800 km、阿仁スキー場に向け、降雪模様の秋田道を進み五城目・八郎潟 IC で降りた。

- **Wikipedia** で調べてみたが、阿仁スキー場は 1982 年（昭和 57 年）、西武鉄道グループにより森吉スキー場とともに開業され、プリンスホテルが経営していた。2006 年森吉スキー場は閉鎖されたが、阿仁スキー場は北秋田市の経営で営業されている。冬期スキー場営業のほか、夏期運行を行い、花の百名山でもある森吉山の高山植物のお花鑑賞、秋は紅葉鑑賞を行っており、冬には樹氷鑑賞もできる。
- ゴンドラ山頂駅は曇りガスで視界不良、11：00 の遅いスタートとなった。樹氷見学ルートから山頂に向けてのトレースを辿り 1308m の石森に到着する頃よりガスが切れて晴れ間が覗くようになりテンションがアップした。山頂に向かう途中の避難小屋は屋根が少し出ている。そこまでは先行者のトレースがあったが、それより先にはトレースがなく、わがパーティがトップでラッセルしながら進んだ。



やがて晴れ間が広がり、素晴らしい樹氷原が現れた。小生は歓声を上げながら、いつものようにスマホで写真を撮りながら最後尾についていった。八甲田・蔵王もよいが、このグレイトな樹氷を目の当たりにすると、もうこれで今回の目的は達成したような

ものだ！！写真撮影に夢中になっていると、単独のボーダーが追い抜いて行った。この辺は風が少し弱く柔らかい雪質でパウダー滑走が期待できそうである。



山頂に近づくにつれ風が強く、シュカブラとクラストで雪面は波打ち固くなってきた。再びガスで視界不良の中、山頂はまだかまだかと鵜の目鷹の目状態であったが、間もなく岩のような雪の塊の山頂に到着した。雪を掻いてようやく標柱と判明、樹氷で巨大化したのだ。厳しい状況のため記念撮影をしてシールでしばらく下り滑走開始地点とした。ガスが切れ視界良好となると素晴らしい景色が広がっているが足元は大波・小波で滑走には不向きである。後続の方々が次々と登ってくる。グレイトビューの撮影で忙しいがやがて美味しそうな斜面が現れ滑走準備となった。やや



パック気味であるがまあまあの滑り心地である。

なかなかいいではないか、次はどの斜面を滑走しよう？登り返してもう一度あの辺を滑ろう。goroさんの華麗なテレーターンが決まっている。



シール装着で分岐点の石森に登り上げると、そこに神社方向から数名の若者が登ってきた。きっとその辺の美味しそうな斜面のパウダーランを繰り返していたのであろう。それにしてもあの薄紫色のワンピースのウェアはもしやSさんでは思いきや、ゴーグルで判らない。まさかこんなところだと思っていると、もう一方の顔貌に見覚え、双方、ほぼ同時に名を呼び合った。数回、山スキーで一緒したり、現地で遭遇した知り合いのSさんグループであった。この世界狭いねとシールを外しながら、少し談笑し、再会の握手を交わし別れた。

下山滑走はゲレンデとゲレンデ脇のブナ林のサイドカントリー、20 cm前後の新雪の下地はややガリガリ、疲労が溜まった大腿四頭筋が攣りそうに悲鳴を上げているので、最後尾からゆっくり下った。それにしても小生より高齢の方々の多いチーム福島の面々は、体力が凄く、どんどん下って行くのには閉口しました。

- ・宿はテレマーク山荘であるが入浴は阿仁前田駅（秋田内陸縦貫鉄道・秋田内陸線）の駅舎にある「クインズ森吉」の温泉を利用、しょっぱい味のするなかなか良い広い温泉施設であった。



- ・2日目はテレマーク山荘から阿仁スキー場（約50 km）まで50分ほどかけて送っていただき（1000円/一人）、ゴンドラ山頂駅—石森—ノ腰—旧森吉スキー場—テレマーク山荘のロングツアーに出発した。天気予想では午前中は晴れベースで、昨夜から朝までも新雪が積もりパウダーランを期待できる。ゴンドラ乗車中、ブナ林が綺麗である。ゴンドラ駅に到着、天



気予想通りには好転しない。

昨日より風は弱い、ガスで視界不良である。石森から GPS と地図・磁石を頼りにホワイトアウト状態の稜線を進んだ。ようやく森吉神社と避難小屋に到着。昨夜は 10 名ほ



ど？宿泊したと聞いていた。鞍部から一の腰への登り上げ、漸く視界が少し良くなってきた。1264mの一の腰に到着、行動食を採って滑走準備。



始めは巨大なモンスターの激しく波打つ林間を慎重に下ったやがて、旧スキー場トップのオープン斜面に到達、その前にモンスターをバックに記念撮影(ポーズのチーム福島 5名)。



楽しい大滑走が待っている。さあ、雪を蹴散らしパウダーラン！！ やや重であるがパウダーランのマイシュプール、Tさんのショートターン、Kさんのアルペンターン、安定したgoroさんのスピードテレターン。下部に来て柔らかい上質パウダーであった。



最後は一直前のリフト下切り開きを滑走して旧駐車場に出た林道を交代で苦にならない下りラッセル、30分でテレマーク山荘に到着した。テレマーク山荘、なかなか泊まり心地の良い宿でした。今度は花の時期に泊まってみるか。福島に18:45頃到着、マイカーで休み休み、0時頃に千葉のわが家に到着した。無雪期の山頂の写真はこんな感じです。標柱から発生した樹氷の凄まじさが理解できますね。次回は花の時期に訪れたいと考えています。

